

「インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング」
- 「免疫学」分野で第6位-

世界的な情報サービス企業であるクラリベイト・アナリティクス（本社：米国ニューヨーク、日本オフィス：東京都港区）は、同じ分野の研究者に引用されている回数（被引用数）の多い論文数からみた日本の研究機関ランキングを2018年4月19日に発表し、千葉大学が「免疫学」分野で第6位（昨年も第6位で3年連続）にランクされました。

この結果は、この分野において千葉大学が世界および日本の研究コミュニティの中で大きな存在感を持つことを示しています。

「免疫学」分野は、千葉大学の推進する「戦略的重点研究強化プログラム」中の「粘膜免疫・アレルギー治療学」（推進責任者：中山俊憲教授）の研究グループと深く関連しており、今後も更なる研究コミュニティへの貢献が期待されています。

論文データの対象期間：2007年1月1日～2017年12月31日

引用元：クラリベイト・アナリティクス社 プレスリリース（2018年4月19日）
<https://clarivate.jp/news-releases/esi2018>

千葉大学戦略的重点研究強化プログラム紹介：粘膜免疫・アレルギー治療学
<http://www.chiba-u.ac.jp/research/fields/priority-research01.html>